

# クラス全員がジュニアマイスター!

熊本県立八代工業高等学校 情報技術科

## 1 はじめに

本校では、ジュニアマイスター顕彰制度を利用し、学習意欲向上に努めています。平成23年度と平成24年度には認定者数が全国上位(20位以内)ということで「学校賞」を受賞しました。情報技術科では、このジュニアマイスター懸賞の全員認定を目標に掲げ、取り組みを行ってきました。

この制度には、現在100以上の職業資格・検定と約60のコンテストが登録されており、その中から生徒が在学中に取得した職業資格や各検定の等級、参加したコンテストに対して得た点数の合計によって、30点以上を『ジュニアマイスターシルバー』、さらに45点以上の特に優れた生徒には『ジュニアマイスターゴールド』の称号を贈っています。

(全国工業高等学校長協会ホームページより)



## 2 取り組み

### (1) 資格検定課外・家庭学習の習慣化

毎日、資格検定試験の課外を行い、家庭学習をしたノートを提出する。また、クラス全員で受験する資格検定以外に興味がある資格や今後自分に必要となる資格を探し、常に目標を持って毎日学習に取り組む。

### (2) 自主学習会の開催

休日や長期休業中には自主学習会を行う。分かる生徒が分からない生徒に教え、生徒が教師となり、お互い励ましあいながら取り組む。

### (3) eラーニング・mラーニングの利用

eラーニングシステムを利用して家庭でも学習ができる環境で取り組む。2年次に全員が受験する「ITパスポート試験」はeラーニングや携帯電話・スマートフォンの端末を利用したmラーニングで学習に取り組む。

### (4) 教室掲示

取得した資格検定や個人のジュニアマイスターのポイントを教室に掲示する。現在の取得状況と目標を明確にし、競い合いながら取り組む。



自主学習会



eラーニング



教室掲示

## 3 結果・成果

3年間を通してクラス39人で640個の資格検定を取得し、ジュニアマイスター顕彰制度ゴールドに34人(うち特別表彰9人)、シルバーに5人が認定され、クラス全員がジュニアマイスター懸賞認定という目標を達成することができました。この取り組みを通して、家庭学習が習慣化され、資格検定だけでなく、定期考査や就職試験・大学入試に向けての学習意欲向上にも繋がりました。また、進路を考える際にも、取得した資格検定が活かせる企業を選ぶ生徒や資格優先型で大学を受験する生徒、自主学習会で教えることの喜びや楽しさを感じ、将来は教師になりたいという生徒もいました。この取り組みが社会人として、職業人としての自覚を高め、進路選択だけでなく進路決定にも繋がりました。